

<子どもの未来を育む「はやね はやおき あさごはん」>

活動の名称 「日高町生きる力を育む早寝早起き朝ごはん運動の推進に関する条例」の制定

団体等の名称 北海道日高町教育委員会

活動に含まれる（連携している）団体等

- 幼稚園 ■保育所 ■小学校 ■中学校 ■高等学校 ■PTA ■子育て・教育支援団体、NPO
- 企業・事業所 ■早寝早起き朝ごはん運動・家庭教育支援に関する実行委員会・協議会
- 行政（教育委員会）
- その他（日高町早寝早起き朝ごはん運動の推進に関する条例制定委員会）

活動の概要

◆ 活動の目的・趣旨

毎年実施されている全国体力・運動能力、運動習慣等調査から、北海道の子どもたちの体力合計点は全国平均を下回っており、日高町の子どもたちの状況も同様の傾向となっています。特に平成25年度の状況は、47都道府県で小学校5年男女・中学校2年女子が最下位、中学校2年男子が46位という結果であり、その後も全国平均を下回っている状況にあります。

児童質問紙から、日高町の子どもたちは、テレビ・ビデオの視聴時間、ゲームや携帯電話等の使用時間が長く、平日3時間以上の割合が全国・全道平均より高い状況であり、また、体育の授業以外の運動時間・朝食を毎日食べる割合は全国・全道平均を下回っており、子どもたちの生活習慣・生活リズム改善の必要性を感じました。

以上のことから、日高町の次代を担う子どもたちを健全に育成するため、平成28年2月に条例を制定し、同年4月に施行しました。

◆ 主な活動内容

「日高町生きる力を育む早寝早起き朝ごはん運動の推進に関する条例」は、子どもの生活習慣を整え、もって子どもの心と身体の健康を保持増進し、たくましく生きる力を育むことを目的として、家庭・自治会等・学校等・町の役割を明示し、町全体が一体となり取組を進めることを目指しています。

具体的には、「日高町早寝早起き朝ごはん運動行動計画」を策定し、家庭・学校等・自治会等については行動指針として、それぞれの取組を考え、町については行動計画として、具体的な取組を明示しました。

条例制定後に実施した事業は次のとおりです。

陰山英男氏講演会	「生活習慣の改善で子どもは伸びる！」(平成28年2月10日・参加者250名)
啓発用看板の設置	日高町総合町民センターに設置
新入学児童の保護者に対する講話	電子メディアが与える影響について
生活習慣アンケートの実施	各小・中・高校、保育所・幼稚園
就学準備事業	保育所・幼稚園の年長児に対する「もじ・ことば・数量・図形」などを取り入れた遊びながらの授業(月2～3回)
体力・運動能力向上事業	保育所・幼稚園の年長児に対する「マット運動・鉄棒・ボール運動・リズム体操」授業(月1～2回)

◆ 活動の成果と今後の展望

条例制定後、生活習慣の改善や早寝早起き朝ごはん運動の推進を実践する気運の醸成につながっています。今後も「日高町早寝早起き朝ごはん運動行動計画」に基づき、幼保・小・中高の連携を強化し、町全体で子どもたちの望ましい生活習慣の定着に向け、運動を進めていきたいと思っております。



陰山英男氏講演会



啓発用看板



保護者に対する講話